

日本共産党 はこんな 政党です

命と暮らしを守るため献身

国会でコロナ対策について質問するもとむら衆院議員



コロナ危機のもと日本共産党は生活相談活動を行っています。「#困ったときは日本共産党に相談しよう」というツイートがインターネットで広がっています。「国民の苦難あるところ共産党あり」——党創立以来の立党の精神がコロナ危機のもとで発揮されています。

共同の力で 変革をすすめる

日本共産党は自公政権を倒し、新しい政治をつくるために「市民と野党の共闘」に取り組んでいます。

続きは JCP

政治の異常な 歪みをただす

世界でも異常な財界中心の政治のもとで、自己責任を押し付ける新自由主義で日本はコロナ危機に脆弱な状態となってしまいました。また、政府はコロナ対策に全力をあげるべきときに沖縄の米軍新基地建設をやめようとしていません。

日本共産党は財界中心、アメリカいいなり政治の歪みを正し国民が主人公の日本をつくりまします。

〈衆院比例東海1次発表〉



衆議院議員
もとむら伸子



前衆議院議員
しまづ幸広

衆院選
制度解説
(記載例)

小選挙区は候補者名で
比例は日本共産党と政党名で

比例で候補者名
を書くと無効に
なります。

日本共産党へご入党ください
「しんぶん赤旗」をお読みください

申し込み
☎0565-34-4772

JCP サポーター登録
 サポーター

コロナ危機打開へ

日本共産党

医療・福祉 教育に予算を

愛知
11区

党豊田市委員会事務局長



本多のぶひる

愛知民報

2020年号外 日本共産党の見解を紹介します。
(発行) 愛知民報社 〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内(1966年7月31日第三種郵便物認可)

連絡先: 日本共産党豊田市委員会
豊田市日之出町1丁目6-6
☎ 0565-34-4772

富裕層や大企業を優遇する政治を見直し 長時間労働や貧困無くす社会のルールを作ります

コロナ対策強化を申し入れ



市の保健部副部長（左）にPCR検査の拡充を要望。8月6日

根本みはる市議員（写真右）とともに複数回、PCR検査の拡充や中小企業の経営を守る支援策などを豊田市に申し入れました。

学校給食費の無料化（10月末まで）やドライブスルー方式PCR検査所の新設などの対策が行われました。



渋谷で街頭取材。2011年

新聞記者を8年

大学卒業後、みかわ市民生協（現在のコープあいち）に就職。日本共産党が相談相手の青年団体「日本民主青年同盟」に転職し、東京で民青新聞の記者として8年間勤務しました（写真）。

民青を卒業後、同党名古屋市議団の事務局員に。

矢作川の洪水対策を国交省に調査

もとむら伸子衆院議員とともに、矢作川の鵜の首狭窄部（豊田市野見町）改修計画について国土交通省から説明を受けました（写真）。

土砂災害や洪水対策の予算増や体制強化にとりこんでいきます。



国交省豊橋河川事務所の岡崎出張所にて。7月27日

衆院選と豊田市議選・市議補選に挑戦

2017年10月の衆議院選挙に愛知11区の候補者として、安保法制（戦争法）の廃止や消費税10%に上げるなど訴え、18,685名（7.5%）の方々から小選挙区票でご支持を頂きました。

2019年4月の豊田市議員選挙の候補者として、公共バスの拡充や若者の正規雇用増を訴え、2,240名の方々からご支持を頂きました。

2020年2月の豊田市議員補欠選挙にも再挑戦（写真）。定数1の補選に2名が立候補し、29,121名（24.9%）の方々からご支持を頂きました。



もとむら伸子衆院議員と豊田市駅前。2020年2月

本多のひろの歩み

1975年、豊田市竜神町出身。大林小、末野原中、豊野高、中京大経済学部を卒業。みかわ市民生協、民主青年新聞記者などの後、日本共産党名古屋市議員団事務局で勤務。現在は同党西三河地区委員会で勤務、同党豊田市委員会事務局長。豊田市寿町在住（2017年から）